

# 帰りたい

## No. 16 新たな生活の場で共に作った、信頼、生きがい、300日の軌跡

特別養護老人ホーム 延寿 宇田昌弘 笠川映子 中野純 西田明美 中島裕允 鈴木一成 墨恭子 田中眞弓

### 対象者

- ・ O様 89歳 要介護度3
- ・ 令和2年12月に入所
- ・ 食事、排泄、移動は自立
- ・ 基本的に、ご自由にすごしていただいている
- ・ 耳が非常に遠く、全く読み書きができない  
その為コミュニケーションをとるのがむずかしい

### 課題

「帰りたい」  
「いつ帰れる？」

### 入所からのご様子

- ・ 自らテレビの体操番組を見て体操をされる
- ・ 歩行運動や屈伸運動をされる
- ・ バランスゲームやジェンガをされる
- ・ そして、毎日のように口にされていたのは  
「いつまでここにいる？」 「家に帰りたい」

「だまって出て行ったら分かんやろう？」  
そして入所3ヶ月後のある日

なんと、  
本当に出て行って  
しまわれた



さいわい、  
施設から1kmの  
場所にあるスーパーで、  
たまたま居合わせた職員により、  
偶然発見された

職員は悩んだ

積極的にコミュ  
ニケーションを  
とる他に、

「どうしたらいい  
んだらう」



### 延寿を自分の居場所と感じていただきたい

その為には、新しい生活の場で、生きがいや楽しみ  
をもつことが重要ではないか

我々は、娘様から「家庭菜園で野菜を作るのを楽し  
んでいた」という情報を頂き取り組みを始める



娘様のご協力で家庭菜園  
のセット。プランターに  
土を入れ、野菜の苗を植  
えた。毎日水をやり、野  
菜が育つのを楽しみにさ  
れていた。

しかし・・・  
家に帰れない、家族に会えないというストレスからか、「こんな  
もん引っこ抜いてしまえ！」という言動が現れるようになった

そして、楽しみに育てておられた野菜を  
引き抜き、引きちぎってしまわれた…

O様は頭を掻きむしっ  
て後悔された

職員も悲しかった

その後  
一部、修復可能なもの  
は植えなおした



トマトと、新たに植えた大葉とゴーヤ  
を、O様は大事に育てられた。

### さらなる取り組み

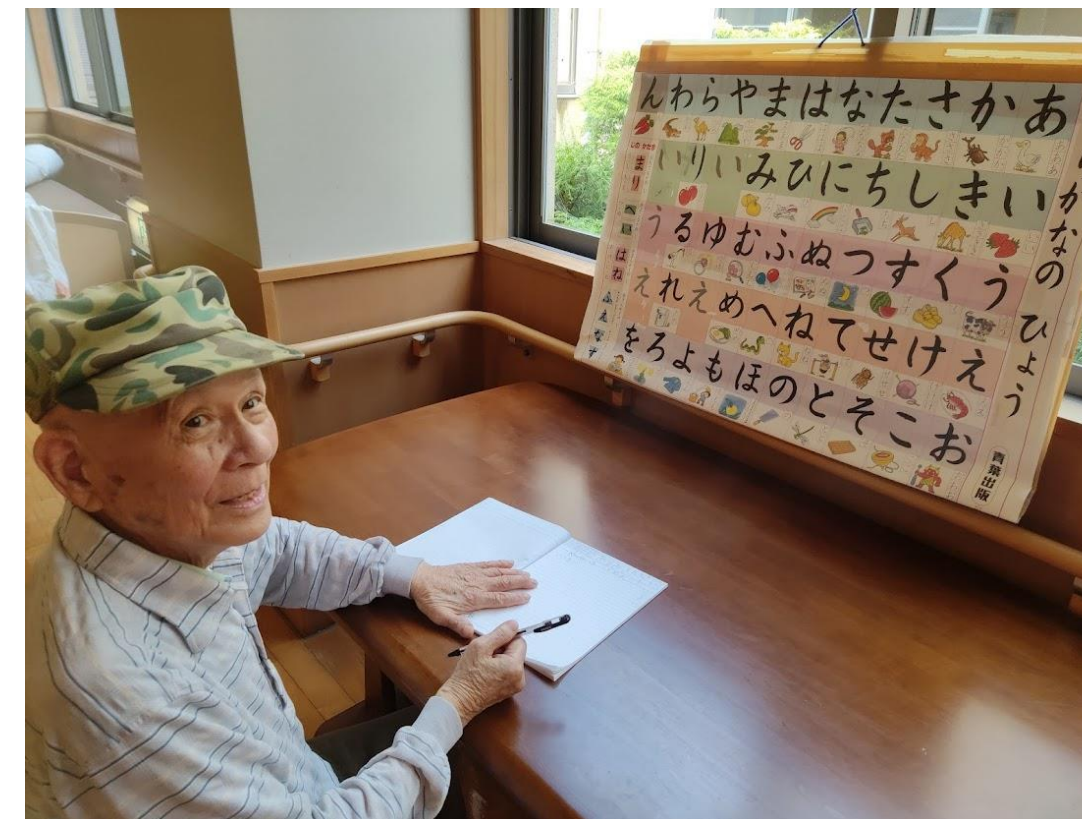
我々はもっとO様に生きが  
いや楽しみを見つけて貰お  
うと、様々な工夫、取り組  
みを始める



日替わりで被る帽子を選ぶ  
O様、お部屋の壁に掛けて、  
選びやすい工夫をした



書道教室に参加した時の様  
子。名前を書けたことに、  
とてもよろこばれていた



試しにノートとボールペ  
ンをお渡しすると、一生懸命  
文字を書く練習された



釣りが好きだと聞いた職員  
が、釣り番組を録画したDVD  
を持ってきた



最近では塗り絵、時代劇鑑賞に興味を  
示される。とくに、塗り絵には、  
並々ならぬ力を注いでおられる



介護職員だけでなく、施設の人々皆  
がO様とコミュニケーションを取る  
環境。O様の笑顔は明らかに増えた

### 今後の課題

- 延寿を自分の居場所と、思っ  
ていただけようにはなっ  
てきたと感じる。しかし、帰  
りたいというお気持ちに変わ  
りはない
- そのお気持ちがあるにも関  
わらず、一時帰宅もできてい  
ない奥様とお寿司を食べに行  
きたい、というご希望がある
- 他にも釣りに行きたい、など

### まだ300日、 まだまだこれから

- ・ やりたいことがある
- ・ 会いたい人がいる
- ・ やっぱり家にも帰りたい

